

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人帯広畜産大学
国立大学法人小樽商科大学 学長 殿
国立大学法人北見工業大学

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

A	当初の構想どおりの取組が行われ成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。
---	--

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 帯広畜産大学
小樽商科大学
北見工業大学

(検討会の所見)

- 全国を上回るスピードでの人口減少、高齢化が進行する中でも、新たな世代による実学を担う大学の存在は重要であり、かつ経営統合を通しての対応、そのプロセス、結果は全国のモデルとなる。順調に推移していることを大いに評価したい。
- KPI の中には、当初の目標設定の水準が控えめであったからか、目標を大きく上回る実績を計上できているものもあるなど、全体として順調に進捗していると評価できる。立地する地域の特性を踏まえ、地方創生、地域の発展に資する大学として、また、地理的には遠隔地に位置する大学の法人統合の好例となることを期待する。
- 計画・構想時には、相互に距離のある3大学間に不安感も見受けられたが、国の政策やデジタル化、DX といった大きな動きにも後押しされる形で、また、世界中が直面したコロナ禍さえも推進力として活かし、当初の構想を上回る取り組みがなされている。KPI も含めて十分な成果を上げている。事業終了後も、法人の長としての理事長に学外者を迎えて、理事長のリーダーシップのもとで経営に取り組み、AI/IoT スマート農畜産業や防災、観光等、分野融合型の研究を重点的に進めるなど、特徴を活かした現実的な計画が考えられており、発展が期待できる。
- KPI はほぼすべて達成しており、3大学の努力を認めたい。連携教育プログラムの履修者数は、KPI より大幅に増であることから学生からのニーズは高いと予想される。一層の充実を期待したい。
- 当初目標とした取り組みはそれぞれの KPI を達成し、統合法人の経営方針の策定、教育システムの充実、産学連携の強化、業務改善など、道内3大学の経営統合に向けた取り組みは着実に進捗している。
北海道地域をけん引する学生を輩出するという視点からの遠隔連携教育プログラム参加人数は令和3年度に目標を大きく上回り、学生に対する意識付けが浸透してきていると思われ、今後さらに農商工連携を中心としたプログラムの充実が期待される。

次項あり

- 3つの大学のローケーションが遠く離れているため、事務組織の再編や、教育効果の向上に懸念を持っていたが、順調に統合に向けて進捗しており、各種 KPI も計画を達成又は上回っていることが確認できた。また、マルチステークホルダーの意見を経営に取り入れていこうという姿勢も評価したい。3大学法人統合による効率化等は経営の強い意志で実現可能であるが、教育・融合研究活動など学生への還元については途に就いたばかりであり、今後学生の声などを聞きながら、効果が最大化するように取組みの不断なブラッシュアップを行っていくことが大切ではないか。
- 北海道における大学連携がこの3つの大学だけにとどまらない可能性を考えていく必要がある。同時に、これらの連携大学が真に統合へと向かうためには、これまでの成果の深化が必要ではないか。